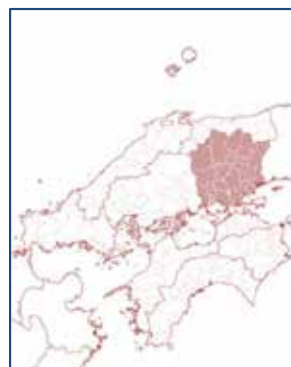
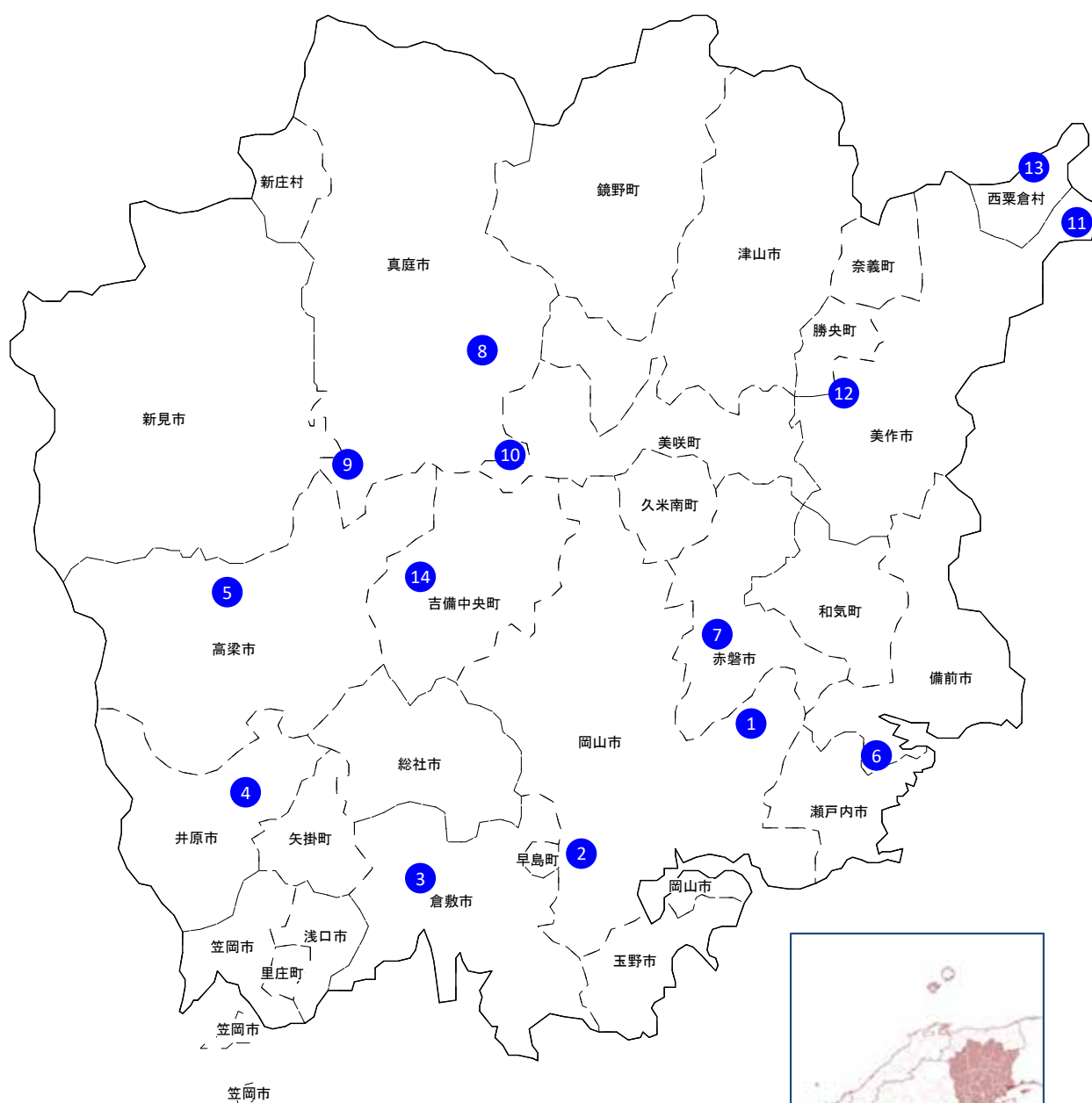


岡山県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (岡山県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	岡山市	おかき戦隊瀬戸南じゃ～ (岡山県立瀬戸南高等学校)	農業	6次産業化	企業との連携
②		団体	岡山市	岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト	農業	地産地消	学生・若者の活躍
③	地方 奨励賞	団体	倉敷市	特定非営利活動法人こうのさと	荒廃農地対策	復興	多様な分野との連携
④		団体	倉敷市	有限会社阪本鶏卵	6次産業化	地産地消	関係人口の創出
⑤		団体	高梁市	一般社団法人 宇治雑穀研究会	6次産業化	食育・教育	農村環境・景観保全
⑥		団体	備前市	東鶴山地区を元気にする協議会	教育機関との連携	高齢者の活躍	女性の活躍
⑦		個人	赤磐市	戸田 洋美	6次産業化	企業との連携	地産地消
⑧		団体	真庭市	NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト	農業	6次産業化	高齢者の活躍
⑨		団体	真庭市	中津井せんだんの会 遺産保存部	伝統の継承	農村環境・景観保全	多様な分野との連携
⑩		団体	真庭市	吉縁起村協議会	荒廃農地対策	地域のスマート化	その他(中山間地域のデジタル化)
⑪		団体	美作市	FARM RESORT あわのわ (東粟倉農泊推進協議会)	農泊	関係人口の創出	
⑫		団体	美作市	美作市農林産物販路開拓会議もち麦部会	農業	6次産業化	地産地消
⑬		団体	西粟倉村	大茅地区活性化協議会	棚田保全	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑭		団体	吉備中央町	吉備中央町農家民宿推進協議会	農村文化体験	女性の活躍	関係人口の創出

応募地区（者）所在市町村図（岡山県）



せんだいせとなん
おかき戦隊瀬戸南じゃ〜 (岡山県立瀬戸南高等学校)
 おかやまけんりつせとみなみこうとうがっこう
 商品開発と交流で地域活性化を目指して！

概要

- 「おかき戦隊瀬戸南じゃ〜」を結成し、新商品「瀬戸南おかき」の開発と併せて、カラフルなつなぎを着て地域イベントに参加。販売活動や地域特産品の宣伝に取り組む。
- おかやま農業女子のイベントへの参加や農家や製造会社での実習、見学など多様な機関と連携・交流を図る。
- 継続的に地域の特産品を活用した新商品開発に取り組んでおり、令和5年度に3つの商品を開発。

成果

- スマート農機を活用した多数回中耕除草技術の実用化試験に地域と連携して取り組んでおり、研究成果の発表や中学生向けの実演を実施。
- 同校が開発した商品をヒントに、地元の製菓会社が味噌おかきを開発し、輸出するなど地域企業の新商品開発にも貢献。
- ホームページやInstagram等のSNSを活用し、情報発信を行った結果、イベント参加の依頼が急増し、令和5年度は10回の校外販売活動を実施。



地域の販売会で歌を披露



おかやま農業女子との交流



中学生に中耕除草実演

〒709-0855 岡山市東区瀬戸町沖88
 086-952-0831 setomina@pref.okayama.jp

関連情報はこちら▶



おかやまこうとうがっこう
岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト
 しょうひ
 「ツバサクラ」から広げる課題解決の輪

概要

- エシカル消費啓発活動として、全農おかやまの「瀬戸内かきからアグリ事業」の下、かきがらを土壌改良資材としてまいて、栽培した里海米をオリジナルブランド「ツバサクラ」として、商品化するなど、取組のPRに貢献。
- 「ツバサクラ」と一般社団法人コノヒトカンの缶詰を使用した防災食レシピを考案し、令和5年、6年に「おかやまSDGsフェア」の飲食ブースでの販売を実施。
- 海洋課題学習を契機に、瀬戸内海の実環境課題啓発を目指した缶詰「syakocan(シャコのリゾット缶詰)」「アイゴのアヒージョ缶詰」を開発。

成果

- 他の社会的課題解決のためのコラボレーションとして、多国籍フードイベント「The World Kitchen」での販売を通して、県内在住の外国籍の方に各種の取組をPRするほか、かきがらをテーマに学習を行う韓国・忠武高校生徒グループと意見交換を実施。
- 探求学習グループから始まった地域課題解決プロジェクトを通して取り組んだことが、地域貢献につながる活動となり、新たな協働に発展するきっかけづくりとなった。



瀬戸内市邑久町での里海米栽培



イベント販売の様子



里海米を使用した商品（缶詰）

〒701-0206 岡山市南区箕島1500
 086-282-6336 hayashih@okayama-h.ed.jp

関連情報はこちら▶



地方
奨励賞

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営活動利法人こうのさと
 みんなでひろげよう祝福のワ

概 要

- 新型コロナウイルス感染拡大で地域コミュニティが縮小する中、妊産婦や子育て世代の孤立を防ぐために、令和3年に設立。
- 子どもとお母さんが畑作業を行う「みんなで畑活」を開催。
- 令和5年4月にはオルナティブスクール「竹林のスコレー」を開校。田畑、山林、耕作放棄地を含む約3haのフィールドで、体験重視の「学びの場」を提供。

成 果

- 活動開始以来、これまで妊産婦さん812名（令和6年7月現在）に有機栽培野菜をプレゼント。
- 岡山県と共同で「倉敷穂井田竹灯籠まつり」を開催。放置竹林間伐、間伐材から竹灯籠を製作し開催後は竹炭として農地の土壌改良資材に活用するなど循環型社会を実現。
- 平成30年西日本豪雨で耕作放棄地となった田を借り、土砂や瓦礫の撤去や水路の再整備をして復活させ、有機農業で米を栽培。



妊婦さんへの有機栽培野菜のプレゼント活動



親子で畑活、夏野菜の鉢上げと植え付け



水害から復活した田んぼで田植え

〒710-0004 倉敷市西坂683
 080-3873-5523 info@konosato.org

関連情報はこちら▶



ゆうげんがいしゃさかもとけいらん
有限会社阪本鶏卵
 エッグマルシェ～卵で地域活性化～

概 要

- 生産コストの上昇に苦慮している中、「卵と卵に携わる者の仕事の価値向上や地域の魅力発信」を目的に、エッグマルシェを開催。地域の事業者や農家との連携を進め、卵を使った料理やスイーツを提供するなど「卵の魅力」を発信。
- 鶏糞堆肥を利用した野菜生産のほか、地元農家との連携により耕作放棄地を利用した飼料用米を生産し、鶏への給餌を実施。

成 果

- エッグマルシェでの集客数が当初の420名（令和3年）から4,000名（令和5年）に増加し、人気が急上昇。
- 直売所やエッグマルシェでの情報発信の効果により、岡山県内の小売店に、阪本鶏卵出張直売コーナーを11か所開設。（令和6年8月9日現在）
- 飼料用米は年間約20トンの安定生産が図られ、飼料の一部として活用することで、地域循環を実現。



大人気の卵サンド



エッグマルシェの開催



阪本鶏卵出張直売コーナー

〒712-8055 倉敷市南畝3丁目13-31
 086-455-7370 sakamotogp8.8@festa.ocn.ne.jp

関連情報はこちら▶



いっばんしゃだんほうじんうじざっこくけんきゅうかい
一般社団法人宇治雑穀研究会
 地域を元気に!!

概要

- もち麦（キラリモチ）の栽培面積（当初10a）が157aに拡大、耕作放棄地の解消に寄与している。
- 平成29年には県内ビール醸造所と連携し、市内初の「地ビール」として「もち麦ビール」を商品化。
- 令和元年、カフェ「麦」をオープン。毎週月曜日には、もち麦を使ったランチを提供するほか、地元の農産物の販売、地域住民の交流・憩いの場として定着。



もち麦の収穫作業



もち麦を使った商品



カフェ「麦」とそのスタッフ

〒719-2232 高梁市宇治町宇治1831-1
 0866-29-9550 yamasato@kibi.ne.jp

関連情報はこちら▶



ひがしつるやまちく げんき きょうぎかい
東鶴山地区を元気にする協議会
 ふるさと再生 女性・高齢者の活躍や小学生との交流

概要

- 耕作放棄地を農地として再生し、花しょうぶ園や栗園を整備するほか、花しょうぶ園の見学や栗拾いなどを開始し、こども園の園児や小学生と交流。
- 月1回開催の「ふるさとサロン」で地元の農産物を使った惣菜の提供や、歌手を招待したり、写真、絵手紙の展示等を実施。
- 県のおかやまアダプト推進事業に参加し、地区内の道路のゴミ回収やガードレールの清掃などの地域活動への積極的参加。

成果

- TV、新聞等のメディアを通じた広報PRにより花しょうぶ園の見学者を増員させる等、地域活性化に貢献。
- 「ふるさとサロン」は、高齢・過疎化が進む中、地域の高齢者の貴重な憩いの場となっている。（年間利用者は400名程度）
- 地区の入口に花壇を整備し、1年を通し花を愛でる景観を形成。（作業には年間のべ150人が参加）



小学生が花しょうぶ園に来園



こども園の園児の栗拾いの様子



ふるさとサロンの様子

〒705-0026 備前市佐山1592-1
 0869-65-8201 4608e5v372@mailbox.next-bb.ne.jp

関連情報はこちら▶



とだ ひろみ
戸田 洋美

未利用資源で地域の魅力づくり

概要

- 令和2年8月に地域おこし協力隊として赤磐市に移住し活動スタート。
- 「エシカル・アップサイクル・サステナブル」を軸に、地元農家と協力し、規格外の果物を活用して新たに製品開発を行うなど、地域特産品の価値を高める活動を実施。
- 岡山大学などで学生に対し農産物を通じた地域活性化やサステナブルの重要性を伝える講演を実施。



開発した除菌ウェットティッシュ



岡山大学農学部にて講演



大学生と連携（会議の様子）

成果

- 赤磐市で生産される果物（桃やぶどう等）の規格外品を活用し、「除菌ウェットティッシュ」「塩ドライフルーツ」を開発。
- 開発した商品はふるさと納税の返礼品、市と県の観光事業販促品として活用され、農家の所得向上、廃棄物の削減、地域の魅力発信など多方面に波及する取組となる。
- 大学生や地元企業と連携した取組により、関係人口の増加や地域活性化などにも貢献。

090-7974-2690 todahiromi@hotmail.co.jp

関連情報はこちら▶



えぬぴーおーほうじんまにわ

NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト

「お節介野菜」から広がる地域循環の輪！

概要

- 令和元年より、規格外で捨てられる地場産野菜をなくすため、地域の高齢者がカットした規格外野菜を商品化・販売する「お節介野菜」のプロジェクトに取り組み、毎年取扱量が増加。
- 地域の家庭生ゴミ等から精製したバイオ液肥による循環型農業の推進や食品ロスの削減、高齢者の活躍などを組み合わせた環境・農業・福祉の連携モデルとして取り組む。

成果

- 規格外野菜を活用することにより、年間約24トンの食品ロス削減、地域の農家所得向上、耕作放棄地の利活用に繋がっている。
- 高齢者の収入、健康・福祉の増進、生きがいや活躍の場となっており、令和5年度のプロジェクトの参加人数は106名に増加（最高齢は96歳）して、乳幼児を持つ母親世代も加わり、加工作業を通して地域の多世代交流の場となっている。



カット野菜の作業をする高齢者グループ



真庭のSDGsモデルを支援



地域資源を活用した「お節介野菜」

〒719-3115 真庭市中396-1
0867-45-7776 npo-info@maniwa-agurigarden.com

関連情報はこちら▶



なかつい かい いさんほぞんぶ
中津井せんだんの会 遺産保存部
 悠久の里中津井地区の遺産整備・保守・伝承・発信

概要

- 佐井田城址までの登山道や周辺の木々の伐採等の環境整備に取り組む。毎年、新春佐井田城址新春ウオーキングでは、手作りの甲冑による足軽や武将姿での参加など、子供から大人まで楽しめるイベントを実施。
- 国指定史跡「大谷古墳」「定古墳群」付近の植込みの選定や草刈り等を行うとともに、大型バスでの来訪者への説明・案内等の活動を実施。
- 説明案内板やルート案内板の設置等の環境整備に取り組む。

成果

- 地元住民の高齢化により清掃などの活動が難しくなる中、遺産保存部で協力して環境整備等を継続して行い、地域との交流や歴史の発信が進んだことが、地域の遺産を後世に伝承することにつながった。



新春佐井田城址ウオーキング



弓の射体験



足軽姿の参加者

〒716-1421 真庭市下中津井1000
 080-1917-8436 mori.ukanya205@gmail.com

関連情報はこちら▶



よしえんぎむら きょうぎかい
吉縁起村協議会
 クリエイティブ（創造する心）を大切に！

概要

- 平成26年に地域の小学校廃校が決定。その後も郵便局や路線バスが廃止になるなど、地域の高齢化と相まって、地域活動が停滞。
- 村の有志による地域看板づくりから始まり、岡山県美作国創生公募提案事業の採択を皮切りに、農業者と非農業者が連携する農村RMOを組織して、農産品、特産品の開発・販売による収益確保と生活支援に向けたデジタル技術を導入。

成果

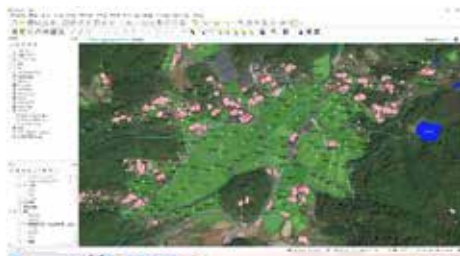
- 耕作放棄地を中心に特産品（スイオウ・ショウガ等）や高付加価値のインディカ米の栽培、加工品を開発。令和2年に拠点施設である有人店舗を開設し、令和5年度の売上は81万円。また、生活の質向上を目的とした無人キャッシュレス店舗の「スマート♥縁起村」をNTT西日本と連携して令和5年10月に開店し、令和5年度の売上は15万円。
- デジタル技術の導入を推進しており、地籍図データ、農地台帳、中山間台帳、森林簿、空き家情報などのデジタルマップを作成。それらを活用することで会議やワークショップの効率が向上。



みんなでチャレンジ、ショウガの契約栽培



無人キャッシュレスのスマートストア



QGISデジタルマップで地域管理構想

〒719-3136 真庭市吉3614-2
 090-2001-4557 yoshiengimura888@gmail.com

関連情報はこちら▶



ふぁーむりぞーと
FARM RESORT あわのわ (東粟倉農泊推進協議会)
 岡山のてっぺんでグランピング×田舎体験

概要

- 地元の事業者が連携し、地域資源を活かした様々な体験メニューとグランピングができる一棟貸しの宿を組み合わせた滞在型ツアーを提供。
- 地域全体を体験フィールドとして活用し、魚のつかみ取りや農業体験をはじめ、地元の野菜や川魚及びジビエをたき火やBBQコンロで楽しく味わえる工夫をしている。また、新たに宿泊施設の壁面を利用した屋外シアター（蔵シネマ）を実施。



足踏み脱穀機を使った脱穀体験

成果

- 民宿、カフェ、農家、川魚養殖業者等が連携し、新たなプログラムや宿泊内容を強化することにより、地域と宿泊者との更なる交流が深まった。
- 懐かしさや素朴さといった田舎の雰囲気を感じながら、おしゃれさや快適さを備えた施設として宿泊数が増加しており、他地域との差別化が図られた。



地域全体を体験フィールドとして活用

〒707-0401 美作市後山1431-1
 090-1181-7851 info@awano-wa.com

関連情報はこちら▶



みまさかのうりんさんぶつはんろかいたくかいぎ
美作市農林産物販路開拓会議もち麦部会
 美作市産キラリモチもち麦くんを全国区に！

概要

- 美作市が、農家の所得向上を図り農業の担い手不足解消及び市民の健康増進を図るため平成30年に、β-グルカンが豊富なもち麦の品種「キラリモチ」の生産と普及推進を進める部会を設立。
- ブランド化したキラリモチ「もち麦くん」のほか、もち麦うどん、もち麦みそなどの加工品による販路拡大を図る。
- 併せて、イメージキャラクターによるイベント参加やオリジナルソングによる広報活動を実施。



もち麦くんともち麦加工品

成果

- もち麦「キラリモチ」の安定生産により地域の特産品の一つとなり、生産農家の農業所得向上に寄与。
- 生産農家が営業活動に積極的に関わり、売れた分が農業所得アップに繋がることを実感してもらうなど、持続可能な農業を実現。



イメージキャラクター

〒707-8501 美作市栄町38-2
 0868-72-6694 nogyo@city.mimasaka.lg.jp

関連情報はこちら▶



おおがやちくかつせいかきょうぎかい
大茅地区活性化協議会
 地域に誇りを持ちいきいきと暮らそう

概要

- 「地域に誇りを持ちいきいきと暮らす」ことを目標に平成27年に協議会を設立し、源流の自然を生かし、再び関係人口を生み出そうと「花と文化のふるさとづくり」に取り組む。
- 棚田の法面、畦道へ芝桜の植栽を続け、夏休み親子川イベントをはじめとする地域資源を活用したイベント（押花教室、女性部による昼食会、学生の受入）の開催や文化活動（古文書の保存活動）などを実施。



令和6年4月6000人が来園する景観誕生

成果

- 毎年春には多くの人々が訪れるようになり、令和6年には17,500株の芝桜が植え付けられ6,000人が来園。
- 女性部による地区のお米や黒豆等を使用した「炊き込みご飯の大お握り」がメディアで紹介され、名物となる。



地域資源を活かした夏休み親子川イベント

〒707-0501 西粟倉村大茅867
 090-7371-9809 kozai.y.m@gmail.com

関連情報はこちら ▶



きびちゅうおうちょうのうかみんしゅくすいしんきょうぎかい
吉備中央町農家民宿推進協議会
 国境を越えておもてなし

概要

- 平成27年に豊かな自然と田舎に暮らす人々の心の温もりを観光資源として発信するための協議会を設立し、「田植え体験」「郷土料理作り」「餅つき体験」など体験型コンテンツを提供。
- 岡山市、真庭市と連携し、ムスリム圏のインバウンド向けツアーの創出や岡山県の郷土料理のばら寿司を令和版に考案した「晴れ寿司」を作るモニターツアー等で町の魅力を発信。
- 若手開業者を中心に、癒しをテーマにヨガ体験のできる民宿や、古民家の拡充など、各民宿の個性を活かしたPRを実施。

成果

- 多様な体験コンテンツや宿主との交流等が好評を得て、国内では関西圏、海外では台湾を中心に修学旅行の受入が増加するほか、移住体験の一環として宿泊する一般観光客も増加し、令和5年度の宿泊者数はコロナ前の水準（321人）に回復。



マレーシア人インフルエンサーと日本食づくり



台湾の学生による餅つき体験



台湾の学生による宿泊体験

〒716-1101 加賀郡吉備中央町豊野1-2
 0866-54-1301 kyoudou@town.kibichuo.lg.jp

関連情報はこちら ▶

